

造影 CT 検査についてよくある質問

●なぜ造影剤を使用するのですか？

造影剤によってあなたの病気の状態をより正確に知ることができ、今後の治療に役立ちます。造影剤を使用しなくても CT 検査は行えますが、正しい検査結果を得られない場合があります。

●造影剤をどれくらい使うのですか？ どのように注射するのですか？

検査目的や患者様の体重にあわせて使用量は変えています。通常 100～150cc です。正確かつ高速に注入する必要があるため、機器を使って静脈から注入します。

●注射された造影剤はどうなるのでしょうか？

注射された造影剤は 24 時間以内にほぼ腎臓から尿中に排泄されます。透析中の患者さんでは、透析によって除去されます。

●造影剤が注射中に漏れたりしないのでしょうか？

機械を使って高速に造影剤を注入するために、血管外に造影剤が漏れることがあります。この場合には、注射した部位が腫れて痛みを伴うこともありますが、通常、時間とともに吸収されて症状もなくなりますので心配ありません。漏れた量が非常に多い場合には、処置が必要となることもあります。

●検査前に食事の制限はあるのでしょうか？

腹部の検査を受けられる患者さんは検査予定時刻の 4 時間前から食事をとらないでください。ただし、少量の水やお茶などの水分はとっていただいてもかまいません。牛乳、ジュースは正しい診断結果が得られなくなる可能性があるためとらないでください。

●常用薬は飲んでもよいのでしょうか？

常用薬はふだん通り飲んでください。

ただし糖尿病の薬を服用されている方は、主治医に確認して下さるようお願いいたします。ビッグアナイド系糖尿病の薬を服用している方は、投与を一時的に中止していただきます。

●注射を受けた後、食事や入浴などに制限はあるのでしょうか？

注射の後、特に制限はありません。普段通りの生活をしていただいてもかまいません。

尿への造影剤の排泄を促進するため、水分を多めにとってください。

●副作用はどのような場合に出やすくなるのでしょうか？

アレルギー体質の方は副作用が出やすくなります。特に気管支喘息の患者さんでは、重篤な副作用が出やすくなります。

また、過去に造影剤を使用して副作用が出た患者さんでも副作用の危険性が高くなります。

●副作用が出た場合の対応はどうなっていますか？

万一の副作用に対して万全の体制を整えて、検査を行っています。注射中、看護師、放射線技師が常に観察しています。なにか異常がみられた場合には検査を中止し、薬剤の投与など最善の対処を行います。もし何か異常を感じましたら、すぐにお話ください。

●外来の患者さんで帰宅途中、後に副作用の症状が出た場合にはどうすればいいのですか？

診療時間内では かかりつけの病院に電話でお知らせ願います。

夜間、休日では明石市立市民病院 078-912-2323 から当直医師に電話でお知らせ願います。

ヨード造影剤を用いた造影 CT 検査説明書

1. 造影検査の必要性

造影剤は画像検査で診断を容易にするために使用される検査用の薬剤です。今回の CT 検査では、ヨード造影剤というヨウ素（ヨード）という物質を含む薬剤が使用されます。造影剤は血管(静脈)内に注射され、全身の血管や臓器に分布します。造影剤の使用によって病気の性質や血管や臓器の様子が鮮明に描出されるようになり、あなたの病気の状態をより正確に知ることができ、今後の治療に役立ちます。造影剤を使用しなくても CT 検査は行えますが、正しい検査結果を得られない場合があります。

2. 造影剤投与による合併症

- * 注射に際して、造影剤の漏れ、末梢神経障害による痛みが起こることがあります。
- * 軽い副作用として吐き気・動悸・頭痛・かゆみ・発疹などがみられます。これらの軽い副作用の起こる頻度は、約 100 人につき 3 人以下（3%以下）です。
- * 重い副作用として呼吸困難、意識障害、血圧低下、ショック、腎機能障害、末梢神経障害による激しい痛みなどがみられます。このような重い副作用の起こる頻度は、約 1000 人につき 1 人(0.1%)です。これらの副作用には治療のため入院や手術が必要なこともあります。また後遺症が残る可能性があります。
- * 非常にまれですが、病状・体質によっては約 10～20 万人につき 1 人の頻度（0.0005～0.001%）で、死亡する場合があります。
- * 副作用は注射後 30 分以内に現れる場合がほとんどですが、検査終了後 1 時間から数日の間に遅発性に生じることもあります。
- * アレルギー歴、特に気管支喘息、造影剤の副作用歴がある場合には副作用の危険性が高くなります。
- * なお、造影剤の注射を受けた時には 1,2 分間ほど体が熱く感じる（注射時の熱感）がありますが、血管に対する直接の刺激による正常な反応で一時的なものであり、心配ありません。
- * ビグアイド系糖尿病薬とヨード造影剤を併用すると、乳酸アシドーシスという病状をおこす恐れがあります。

3. 合併症発症時の対処

万が一、合併症が発生した場合は、最善の処置を行います。その際の治療は保険診療となります。

4. 同意の撤回

いったん同意書を提出した後でも、いつでも同意を撤回することができます。検査に同意しない場合でも、何ら不利益な取り扱いは致しません。

説明年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

説明医 _____

